

編集後記

今月号では総研大(総合研究大学院大学)の設立20周年に関連して、学生と教員たちを交えた座談会を企画した。国立民族学博物館に設置された文化科学研究科の二専攻(地域文化学専攻と比較文化学専攻)のこの20年の歩みは決して順風満帆ではなかったが、それでも文化人類学・民族学に関連する分野の優秀な人材を数多く輩出してきたことは間違いない。

ただ、近年の学生たちの研究内容を見ていて、少々気になることがある。それは研究テーマの多様性が徐々に狭まっている印象を受ける点である。現代の焦眉の問題(環境、多文化共生、グローバル化など)に関心を集中させるのはいいが、同時にもっと興味の対象を広げるべきである。ただ、その責任は学生だけにあるのではないかもしれない。まず、指導する教員側の関心に多様性がなくなってきた。そして、文化人類学・民族学の研究対象となる人びとの社会、文化にも多様性が失われてきているのだろう。

人口増加と環境破壊で狭くなっている地球を、人類はますます狭く使おうとしているような気がする。(佐々木史郎)

次号の予告

特集 ふたつの「みんぱく」

月刊みんぱく

2010年2月号

第34巻第2号通巻第389号 2010年2月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話 06-6876-2151

発行人 西尾哲夫

編集委員 久保正敏(編集長) 佐々木史郎 庄司博史
中牧弘允 信田敏宏 山中由里子

協力 財団法人 千里文化財団

制作 京都通信社

印刷 市蔵図書

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館企画連携係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

●予定時間 14時30分から15時30分(予定)。

●常設展示場観覧料が必要です。

*都合により、予定を変更することもあります。

国立民族学博物館(みんぱく)の研究者が、来館された皆様の前に登場します!

「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」などなど、話題や内容は千差万別!

どんどん質問もおよせください。展示場でお待ちしています。

2月の開催

2月7日(日)

話者: 鈴木紀(先端人類科学研究部准教授)

話題: チョコレートに託すもう一つの愛情

場所: アメリカ展示



中央アメリカ、ペリズ国南部のカカオ畑

2月14日(日)

話者: 水野信男(兵庫教育大学名誉教授・本館共同研究員)

西尾哲夫(民族文化研究部教授)

話題: 中東の音楽風土を探る

場所: 西アジア展示

2月21日(日)

話者: 山本泰則(文化資源研究センター准教授)

話題: ビデオテークのむかし、いま…

場所: 常設展示入口

2月28日(日)

話者: 韓敏(民族社会研究部准教授)

話題: トランプから見る中国文化のあり方

場所: 中国地域の文化展示

1年間みんぱくに何度でも入館できる

「みんぱくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

常設展は何度でも無料で入館できます。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいあります。

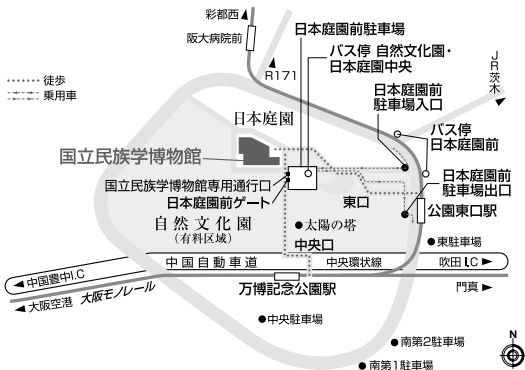
特典◆常設展の無料入館◆特別展の観覧料割引

◆みんぱくミュージアム・ショップとレストランの10%割引

◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。

詳細については、財団法人千里文化財団までお問い合わせください。

(電話06-6877-8893/平日9:00~17:00)



交通案内

●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分

●阪急茨木駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分(茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください)。

●自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。

●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れられます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

